



平成 30 年 10 月 4 日

各 位

会社名 株式会社 さ い か 屋
代表者 取締役社長兼社長執行役員 岡本 洋三
(コード番号 8254 東証第 2 部)
問合せ先 執行役員 経理部長 堀江 肇
(TEL. 046-845-6803)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 4 月 12 日に公表いたしました平成 31 年 2 月期第 2 四半期（累計）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 31 年 2 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,200	80	15	10	3.20
今回修正予想 (B)	9,620	△20	△88	△98	△31.45
増減額 (B-A)	△580	△100	△103	△108	
増減率 (%)	△5.7	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 2 月期第 2 四半期)	9,867	△6	△64	△67	△21.73

2. 修正の理由

平成 31 年 2 月期第 2 四半期累計期間におきましては、近隣商圈における業種、業態を超えた販売競争の激化など厳しい状況のなか、基幹店の藤沢店では 6 月に新規 13 ショップをオープンしたことや、前年のリニューアルの効果により、第 2 四半期累計期間の売上高が前年同期を上回るなど、これまでに実施した諸施策の効果は出て来ております。しかしながら、当社全体では中元需要の低迷に加え、連日の猛暑や台風の影響も受けたことから、全店舗で予想した売上高を下回る見込みとなりました。また、経費の面では、ローコストオペレーションを推進し効果的な経費運用に引き続き取り組んだ結果、計画内の着地となりましたが、販売収益の計画値未達を埋めきれず、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに当初予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、第 2 四半期決算発表時に開示いたします。

上記業績予想は、現時点において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上